

役員会の動き

- ◇理事会=9月3日(月)①副会長の選任②正会員の入会申込み③平成30年度県社協会長顕彰候補者の審査④理事候補者の推薦⑤監事候補者の推薦⑥評議員候補者の推薦⑦各種委員会委員の選任⑧基本財産の処分(変更)ならびに駐車場運営事業の廃止⑨定款の変更⑩評議員会の決議の省略の実施
- ◇評議員会=9月14日(金)①基本財産の処分(変更)ならびに駐車場運営事業の廃止②定款の変更③理事の選任④監事の選任

新役員の紹介

- ◇理事=鶴飼一晴(唐池学園)、出縄守英(進和学園)
 - ◇監事=鈴木啓正(天王森の郷)
- 任期:9月14日開催の評議員会における選任時から平成31年6月に開催する定時評議員会集結の時まで

新会員紹介

- 【経営者部会】(福)愛光会、(福)緑樹
- 【施設部会】荏田介護老人保健施設あすなろ、厚木ふじの花保育園、グランドヴィラ湘南台、ケアハウス モモ、国際親善総合病院、ライフ ゆう、レジデンシャル百合ヶ丘

会員・関係機関主催

かながわコミュニティカレッジ 傾聴ボランティア・リーダー研修

- ◇日時=12月4日(火)~12月25日(火) 毎週火曜・全4回、午前9時30分~午後12時30分
- ◇会場=かながわ県民センター11階(横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2)
- ◇内容=傾聴ボランティアの活動を既にしている方、傾聴ボランティアのトレーニング研修を修了している方向けの、スキルを深める講座
- ◇費用=6,000円
- ◇定員=30名。定員を超える場合は抽選
- ◇申込方法=11月20日(火)までに、住所・氏名・電話番号・講座名を事務局まで☎・FAXにて申込。受講の可否は締切後に通知
- ◇問合せ先=かながわコミュニティカ

レッジ事務局
☎045-620-0743 FAX 045-620-0745

つながりのまちづくり フォーラム2018

- ◇日時=12月5日(水) 午後5時30分~午後8時40分(開場午後5時)
- ◇会場=かなっくホール 横浜市神奈川区民文化センター(横浜市神奈川区東神奈川1-10-1)
- ◇テーマ=「つながりの連鎖がまちを変える」
- ◇費用=無料
- ◇申込方法=氏名、所属、連絡先、参加動機を記載のうえFAX FAXで申込。定員250名に達し次第締切
- ◇問合せ先=横浜市市民活動支援センター
☎045-223-2666 FAX 045-223-2888
MAIL daihyo@hamacen.jp

(一財)光之村活動助成募集

- 主に県内を拠点として障害、高齢、生活困窮分野で活動する団体を対象に助成支援します。
- ◇助成金額=【A福祉人材育成を支援する事業】1団体10万円を限度
【B障害者等施設の団体活動を支援する事業】1団体5万円を限度
 - ◇助成期間=平成31年4月1日~平成32年3月31日
 - ◇申込締切=11月30日(金)必着。助成が決定した団体には通知
 - ◇問合せ先=(一財)光之村
〒253-0052茅ヶ崎市幸町19-23
☎ FAX 0467-58-9134
URL <https://chigasaki-hikarinomura.jimdo.com/>

福祉に関する本のご案内

『愛し愛されて』阿部志郎著

- 著者である阿部志郎氏の90歳を祝って出版された、「静かな人間愛に生き、なすべきところでは勇気をもって果たしてきた人生記」。戦後の日本の福祉事業確立に貢献し、福祉や医療問題の提起や教育制度の確立などに活躍。さまざまな支援、協力などで社会貢献をとげた軌跡が本人の気持ちを添えられて記された一冊。
- ◇価格=2,400円(税別)
 - ◇問合せ先=横須賀学の会

☎046-823-0333

寄附金品ありがとうございました

- 【交通遺児援護基金】(株)エスホケン
- 【ともしび基金】福田清勝、片桐脩、脇隆志、(福)済生会湘南平塚病院(合計9件53,697円)
- 【寄附物品】音気楽工房(株)、神奈川県石油業協同組合、福田清勝、県整備局管理部建設業課
- 【ライフサポート事業】
＜寄附物品＞(福)みなと舎、(N)セカンドハーベスト・ジャパン
(いずれも順不同、敬称略)



音気楽工房(株)より、児童福祉施設、高齢者福祉施設にピアノを寄贈いただき、鈴木康弘代表(中央)に感謝状を贈呈。特別養護老人ホームしょうじゅの里三保の八木郁夫副施設長(左)も贈呈式に立ち会った

第2回関東地区高校生 介護技術コンテスト開催

去る9月1日に横浜市内で開催され、5県7校が出場しました。本県からは、7月28日に開催された県コンテストで最優秀賞等に輝いた県立津久井高等学校と川崎市立川崎高等学校が出場。両校は日々の積み重ねを感じさせる技術を披露し、津久井高校は優秀賞、川崎高校は優良賞を受賞しました。競技の後には生徒交流会が行われるなど、互いの技術を高めつつ、関東地区の仲間とのつながりも深める機会となりました。(本紙9月号「表紙」「かながわほっと情報」に関連記事掲載)



(写真提供: 関東地区高校生介護技術コンテスト実行委員会)